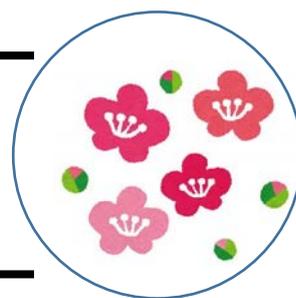




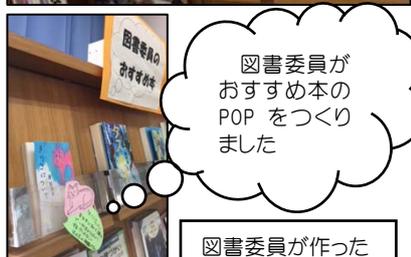
図書だよ!



厳しい寒さが続いています。でも、季節を分ける「節分（せつぶん）」が過ぎるとすぐ「立春」。土の中ではもう春の準備が始まっています。今月、受験本番を迎える3年生もがんばって!



2018 戌年（いぬとし）にちなんで、「犬の本」を集めてみました！（図書委員会）



図書委員がおすすめ本のPOPをつくりました

図書委員が作った「犬の本」コーナー



- 「続・星守る犬」
 - 「すてねこタイガーと家出犬スポット」
 - 「南極犬物語」
 - 「氷の海を追ってきたクロ」
 - 「グッドドッグ・ステイ 愛犬ポーが教えてくれたこと」
 - 「犬たちをおくる日 この命、灰になるためにうまれてきたんじゃない」
 - 「ドッグ・シェルター 犬と少年たちの再出航」
 - 「はたらく犬たち」訪問活動犬・タレント犬
 - 「帰ってきて！愛犬ナナちゃん」
 - 「マリと子犬の物語」
 - 「ぼくとポチの新発犬図鑑」
 - 「災害救助犬レイラ」
 - 「南総里見八犬伝」
 - 「そしてベルナは星になった」
- …このほかにもいっぱい！ぜひ、手に取ってみてください。

秋月先生（国語科）おススメの本

『夏の庭 —The Friends—』 湯本香樹実 新潮文庫



10年以上前に読んで感動した本を皆さんにおススメしようと思い、もう一度読み返してみました。以前読んだときより、10倍感動しました。ラストシーンは涙があふれて止まりません。自分でも驚きました。「本の力」ってすごいです。

——「死ぬってどういうことなんだろう？」

「人の死」に興味をもったおバカな3人トリオ（少年）が、今にも死にそうな近所のおじいさんの死ぬところを見届けてやろうと、おじいさんを見張るところから、この物語は始まります。笑えて、泣けて、そして深い。

「死」と向き合うことは、皆さんが精いっぱい生きていくためにとても大切なことなのかもしれません。ぜひ、読んでみてください。

